

白ネギ・葉ネギの

品質・食味向上と鮮度保持に、

カルシウム強化栽培！！



白ネギ（根深）は淡色野菜、葉ネギは緑黄色野菜と言われ、
白い部分はビタミンCと香り成分のアリシンが多く、緑の部分
はビタミンCに加えβ-カロテン・カルシウムの栄養素が
豊富な万能野菜です！！

【硫酸カルシウム肥料】



カルゲン®

【粉状・粒状】 15 kg入り

ネギ栽培の特長

- ◆ 生育適温は 15～20℃前後ですが耐寒性・耐暑性に優れている
- ◆ 最適土壌 pH は 6～6.5 で土壌適応性は広い
- ◆ ネギの根は酸素要求量が高く、乾燥には強いが、水分過多や水捌けの悪い土壌に弱いので、排水管理は充分におこなう
- ◆ 特に気温が 25℃以上で過湿の場合は湿害が激しく発生するので注意する
- ◆ 養分吸収量はカリが最も高く、次いでチッソとカルシウムが同等、特に生育最盛期には吸収量が急増するので欠乏しないように肥培管理をおこなう
- ◆ カルシウムの効果で品質が向上し、イオウの効果で香りや辛味が向上して鮮度保持にも期待が持てるのでカルシウムとイオウが主成分のカルゲンはネギ栽培に有効な資材

養分吸収量（収穫 1 トン当たり） kg

チッソ N	リン酸 P ₂ O ₅	カリ K ₂ O	カルシウム Ca	マグネシウム Mg
2.3	0.5	2.6	1.6	0.2

カルゲンとは・・・

- ◆ カルシウムとイオウが結びついた石膏（農業用石膏）を主原料に製造したカルシウム特殊肥料
- ◆ 酸性のカルシウム肥料ですから土壌の pH が上昇することなく、連用することで土壌を団粒化して、有効微生物の繁殖を促す
- ◆ 石灰類（炭カル）に比べ約 170 倍水に溶けやすく、作物に吸収されやすい水溶性のカルシウム肥料
- ◆ 作物が健全に生育するために必要なカルシウムの養分補給に最適
- ◆ 特に、窒素過剰による生育障害を軽減（拮抗作用）

カルゲン施用量（当社推奨基準）

	施用方法	施用量	備考
元 肥	全面土壌混和	2～4 袋/10 a	定植前（他の肥料と同時施用）
追 肥 1	畝間に施用	2 袋/10 a	定植後 30 日頃から（土寄せ時） 生育状況をみながら
追 肥 2	葉面散布 （ネオカル水和剤又は カルゲンβ液剤）	100～150ℓ/10a	1,000 倍液を 2～3 回散布 農薬と混用可能 （銅剤・アルカリ剤を除く）

☆ 上記の施用量は標準です。土壌診断を基準に施用量を増減してください。

☆ 酸性土壌の場合は石灰類等を加用してください。

☆ 詳しくは、お近くの販売店または営農指導員の方へお尋ねください。

《総販売元》



吉野石膏販売株式会社